

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 大郷町

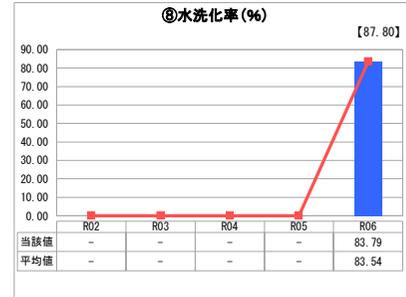
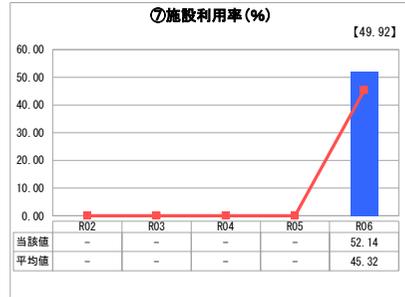
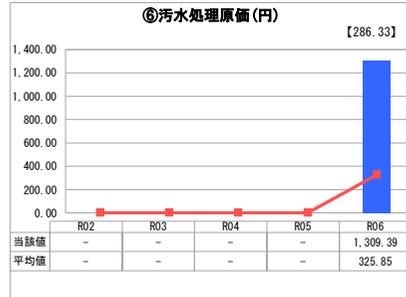
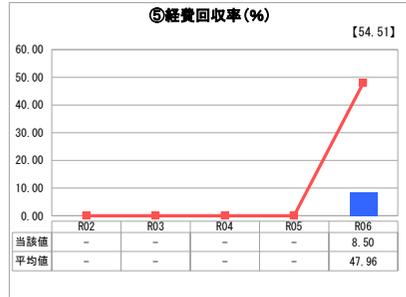
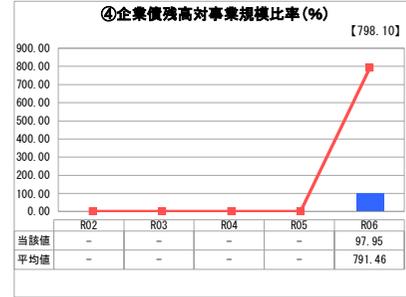
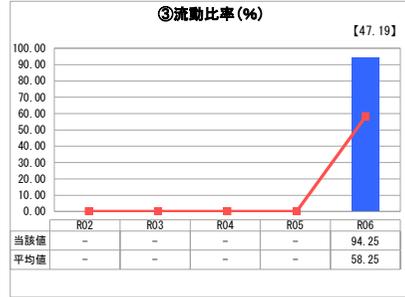
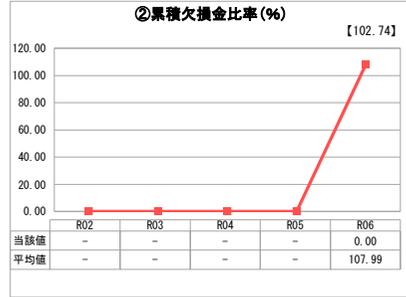
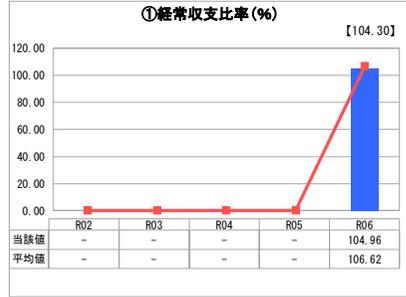
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	89.25	8.88	90.27	2,255

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,480	82.01	91.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
660	0.69	956.52

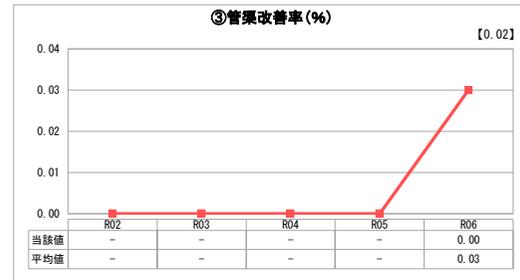
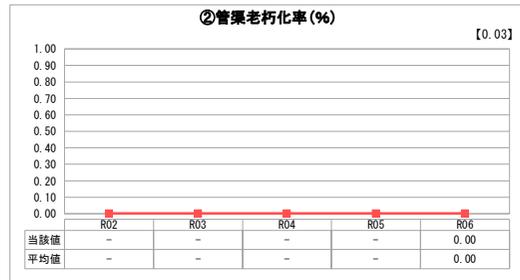
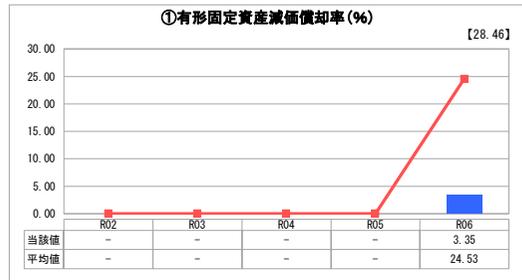
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は104.96%となっているが経費回収率が類似団体の平均を大幅に下回っており、使用料以外の経費に大きく依存したもとなっている。施設を適正な規模へのダウンサイジングなどの計画的な設備の更新などを図り、維持管理費の縮減に取り組む必要がある。

流動比率については100%を下回っている。流動負債に企業債や他会計からの負担金等が多く含まれていることが要因と考える。

企業債残高対事業規模比率については類似団体と比べ、低くなっている。

汚水処理原価については、類似団体よりも非常に高くなっており、汚水処理費に対する使用料の割合が低くなっているため、適正な料金の算定が必要である。

水洗化率は類似団体とほぼ同様であるが、新規農集排水利用者の増加について、加入促進の啓発活動など、引き続き水洗化率の向上による収益性の向上を目指し、経費回収率などの数値の改善を図る。

### 2. 老朽化の状況について

平成12年度に併用開始し23年経過、管渠の耐用年数は40年であるが、処理場やマンホールポンプ等の機械電気設備は法定耐用年数を超過してきているため、施設の効率的な更新計画を図っていく。

## 全体総括

水洗化促進の取組を強化し、水洗化率の向上に努める。

施設の計画的な更新・修繕を行い維持管理費の削減を図る。

広域的視点に立ち、より効率の良い経営手法を検討する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。